



CSW64 サイドイベント
日本政府国連代表部とNGO3団体との共催

Empowering Women as Taxpayers

Breaking the Mold of Dependency and the Unconscious Bias in
Gendered Society

日時：2020年3月12日10:00から11:15まで（75分）

会場：国連本部会議棟 CR 8

CSW64 1995年北京宣言から25年

これまでに達成されたこと . . . まだ達成できていないこと

2020年3月2日

国際婦人年連絡会 世話人 紙谷雅子

CSW64

Commission on the Status of Women



BEIJING+25: REALIZING GENDER
EQUALITY AND THE EMPOWERMENT
OF ALL WOMEN AND GIRLS

9-20 March 2020

CSWの議論にも， CSWの合意にも，
NGOの意見が反映されるよう， 政府は努めてほしい・・・

国連での議論に関わるのは国家だけではない
とくに 女性の問題に関しては・・・

サイドイベントは， 国連が運営するフォーラム
政府や国連の機関が「女性の地位」について
しばしば， NGOと共催して， 実現



CSW64でも， NGO3団体が外務省に申し入れて実現
CSW64の主要なテーマ「北京宣言から25年」を考慮して，
企画・立案
外務省・国連代表部と協議して， 実施

NGOとしては， 女性問題の議論に女性の意見は不可欠
・・・と考える
2020年で8回目， 実際には10年以上の歴史が・・・

今日，女性たちは

教育を受け

選挙権を行使

選挙に出馬

自分の名前で財産を所有

することができているのに・・・

全員が積極的に権利を行使し，

自由を謳歌するわけではないのは，なぜ？

女性たちは、

無意識に自分にできることに枠をはめている？

（自分に不利益になっても）他の人の利益を優先させている？

自分たちの行動で社会を良くすること，社会貢献に関心がない？

責任を果たす人にはなりたくない？

いつまでも，誰かに頼りたい？

選挙権を行使するだけでなく，納税者としての見解を政治に反映させたいとは思わないのだろうか？



Empowering Women as Taxpayers

Breaking the Mold of Dependency and the Unconscious Bias in Gendered Society

3NGO団体は、女性の自立を、CSW 62, CSW63と検討

法制度、税制度などは、一見すると、中立のようだが、
女性が経済的に自立すると不利益となるよう、それとなく、妨げ
ている

女性たちも、無意識？に「自ら不利になる選択」をしている

女性は扶養された方が「得」で「有利」であると、思い込まされ
ているけれども、「得」するのは女性ではない！

政治的な参加に無関心なのも、身銭を切って、税金を納めていな
いから？



プログラム（案）では

10時から75分（当日このイベントが最初）

4人のスピーカー（北欧，アジア，日本の予定）と会場からの発言

テーマ：「女性は納税者である」ということの意味

- * 女性たちが経済力を持つ
- * 女性たちの収入は誰のもの？
- * 納税の単位は「夫婦・所帯」ではない
- * 無償労働にも配慮を！

ベーシック・インカム制度についても考えてみては！？！



言いっ放しではありません

- * 担当となったNGOはイベントについての報告書を作成
- * 国連代表部には、このイベントでの見解を政府間協議などの場面でも、活用するよう、要望
- * NGOは、イベントでの知見をそれぞれの団体の活動において活かすべく、努力
- * 北京宣言に照らして、まだまだ不十分なところ、SDGsの目標に至っていないところなど、イベントで明らかになった情報を活用するよう、日本政府全体に、要望